

## 会 議 録

会議名	令和元年度 生路児童館情報交換会	
開催日時	令和2年1月29日（水） 午前10時から午前11時30分まで	
開催場所	生路児童館 図書室	
出席者	参加者	杉浦生路区長、西本生路小学校教頭 竹内主任児童委員、長坂民生・児童委員地区長、 山口更生保護女性会支部部長、加藤交通指導員、 岩尾子ども会会長、山下児童クラブ保護者代表 長坂母親クラブ会長
	事務局	榊原課長、竹内子育て支援センター所長、 神田館長、酒井主事
欠席者	長坂児童クラブ代表	
議題	1 令和元年度 児童館活動状況 2 令和2年度 児童館活動計画 3 その他	
傍聴者の数	0人	
審議内容	<p>◆児童課 榊原課長(あいさつ)</p> <p>◆生路区長 (あいさつ)</p> <p>(自己紹介)</p> <p>◆事務局 配布資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度活動状況について</li> <li>・令和2年度活動計画について</li> <li>・児童館利用状況について</li> </ul> <p>◇参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から児童クラブを利用しており、その中で様々な工作活動を企画されて、子どもがとても喜んでいる。又、季節にあったイベントも行われ、今後も引き続き行って欲しい。お願いとしては、児童館で宿題も行えると思うので、宿題を行うように子どもたちに声を掛けていただきたい。</li> </ul> <p>◆事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も児童クラブの子が来館した時には、宿題を行えるように声を掛けている。今後も宿題に取り組めるように引き続き</li> </ul>	

声を掛けるようにする。

◆事務局

- ・現在、東浦町では他市町村と違い児童館で児童クラブの運営を行っている。その中で、職員の体制は正規職員1名を各児童館に配置をしていくことで質の高い児童館運営をおこなえる体制を確保している。

◇参加者

- ・児童館はだれでも気軽に来られる場所となっている。家ではテレビゲームで遊ぶことが多くなってしまおうと思われるが、児童館では色々な遊びを通して交流ができる場所になっており東浦町は手厚く児童館運営を行っていると感じている。

◇参加者

- ・乳幼児を2人連れて親子で利用をしている。その中で、児童館に児童クラブの子がいることで、うちの子と児童クラブの子と一緒に遊んでくれるため、子どもが楽しく遊べてとても良い交流が出来て嬉しく思っている。

◇参加者

- ・利用者が多くなるように地域のボランティアの方に来ていただて折り紙、こま、けん玉などの遊びを教えてもらえるといいのではないか。

◆事務局

- ・現在は将棋の先生には、毎週月曜日に将棋を教えていただいている。昨年度は、けん玉の先生にも児童館に来ていただき、けん玉を教えていただいた。今後も子どもたちが楽しめる遊びを企画していく中で、地域のボランティアの方の力もかりていき利用者の増加に繋げていきたい。

◇参加者

- ・母親クラブの講座の参加者はどのようになっているか。

◇参加者

- ・講座により参加人数差が多き。人気の講座はいつも定員いっぱいになる。1講座の基本定員10名で行っている。

◇参加者

- ・発達障がい児等親子支援事業とはどのようなものか。

◆事務局

- ・発達障がい児等親子支援事業では「きりんの会」と「こぐまの会」の2つに分かれて行っている。  
「きりんの会」では保健センターの1歳6か月児、2歳2か月児健診等で言葉や行動の発達等に遅れが見られたり、母親の育児不安等のある子とその保護者を対象としている。期間は3期に分かれており1期は藤江児童館、2期は石浜児童館、3期は子育て支援センターで行っている。
- ・「こぐまの会」ではきりんの会修了者や3歳児健診等で発達障がいの傾向がみられる子とその親で、来年度保育園、幼稚園などに入園予定している親子を対象としている。子育て支援センターで年に10回開催され3期に分かれて行っており時間は1回の開催につき1時間30分である。内容は簡単なルールのある遊びをおこなっている。定員については1期につき20名ぐらいになる。

◇参加者

- ・子どもが児童館を楽しく利用をしており楽しく遊べる環境が整っていると思う。
- ・児童クラブの利用を考えたが午後1時に仕事が終わり預けることは可能か。

◆事務局

- ・東浦町では、児童クラブを利用していただくのにあたり児童クラブ加入基準がある。入会にあたり複数の基準があるが単純に午後1時に終わる基準だけで判断すると、1年生は4月、5月の加入は基準を満たしているため入会出来る可能性が高い。だが、6月からは最低就労時間が午後3時以降になる為、今の加入基準では難しいと思われる。

◇参加者

- ・コミュニティーセンターやこっこで見た子が大きくなり声を掛けてくれることがとても嬉しい。保護者には子育てをする時には、肩の力を抜いて良いことを伝えて言っている。今は色々な情報が簡単に手に入るが、情報に振り回されずに子育てを楽しんでほしいと思う。
- ・夏祭りでは毎年迫力のあるお店を児童館は考えて出しているので、とても凄いと感じている。

◇参加者

- ・赤ちゃん訪問をさせていただいているが訪問の感じるのは、核家族が多くなり子育ての不安を相談ができる機会が少なくなっていると感じる。今後も児童館を紹介していき来館しても

らうことで、職員や他の親と交流のきっかけになるようにしていきたいと思っている。主任児童委員として今後も生路地区のために力を入れていきたい。

◇参加者

- ・安全に遊べる児童館の役割はとて大きいと考えている。東浦町では、児童館で学童保育を行い、さらに専従の職員がいることは子どもたちにとって安心できる環境である。児童館の職員が小学校に迎えに来ると、児童クラブの子どもたちは笑顔になり安心をしている姿が見られる。子どもの周りに安心できる大人がいると、勉強の取り組みも集中していけるため子どもにとって良いことだと思っている。

◇参加者

- ・コミュニティーでは小学生の下校をもっと安全に行えるようにスクールガードの充実を考えている。コミュニティーの部会も協力していき、子どもたちの安全をより一層考えていきたい。
- ・子どもたちは生路の宝であると考えている。そのためにも児童館、学校、地域が子どもたちを見守っていること伝えていくことが大切だと考えている。子どもたちが良いことをしたら褒めていく、悪いことをしたら注意していく、色々な人が子どもたちを見守っていることを感じていける地域にしていきたい。
- ・子育てをしている親は、子育てで悩み自分が悪いと感じてしまう事が多いと感じている。それは、スマホで簡単に情報が入ってしまい人に相談する機会が少なくなったからだと思っている。そして、相談したり話したりする機会がとても重要だと考えている。なぜならば、引きこもりの支援を行っている時に家族会で話し合いの機会を持ち話すこと聞いてもらうことで安心に繋がるからである。児童館が安心できる施設となっていることはとても良いと思っているので、今後も皆さんで声を掛けていける場所であってほしい。

◇参加者

- ・父親の育児参加も大切になると思うが児童館に父親の利用もあるのか。

◆事務局

- ・父親の来館は多くはないが利用されている。利用の際には家庭での子育ての情報交換や悩みなどを話すことがある。

	<p>◇参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童クラブの子でおやつを食べる子と食べない子がいるが児童館でおやつの準備をして全員が食べられるようにすることはできないのか。</li> </ul> <p>◆事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童クラブのおやつについては、親子で話し合いおやつを持ってくるか持ってこないかを決めていただいている。持ってこない理由としては、おやつを食べるより友だちと遊びたい、お迎えの時間が早いため家でおやつを食べるなど様々な理由があるため、最終的な判断は保護者が決めることになっている。又、近年アレルギーを持っている子どもも多くいるため児童館で準備をしたおやつを全員で食べるのは現状では難しいと考えている。</li> </ul> <p>◇参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童館は毎日忙しそうにしているが職員は不足していないか。</li> </ul> <p>◆事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正規職員、非常勤職員の他に学生のアルバイトにも児童館運営に協力をしてもらっている。学生は子どもとの年齢も近く元気遊んでくれるため遊びが盛り上がり子どもたちも喜んでいる。</li> <li>・ 保育園の職員にはなるが、最近は毎年 20 名前後の採用をしている。ここ 2 年ほどで職員の半分ほどが若い職員となる。</li> <li>・ 職員が様々な理由で早期に退職をする方も見える。そのため、児童課では同期の職員と交流する企画をおこなうなど相談しやすい環境を整え、職員の心のケアにも力を入れている。</li> </ul> <p>◇参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学の求人コーナーなどにも職員募集をだしていくといいのではないか。</li> <li>・ 保育士が出産をすると退職される方が多いと思うがなぜ、復帰を考えないのか。</li> <li>・ 退職にはどのような理由があるのか。</li> </ul> <p>◆事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童課も大学に職員の募集のアピールに行って職員確保に努めている。</li> <li>・ 出産しても色々な制度があり退職をしなくても働き続ける制度はあるが難しいのが現状である。</li> <li>・ 退職には様々な理由がある。結婚退社や自分の思っていた仕事の内容との差などがある。又、子どもの保育だけではなく</li> </ul>
--	---

	<p>書類などの業務量が多くなるため負担になっていると思われる。業務量の見直しも今後の課題であると考えている。</p> <p>本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、午前 11 時 30 分に閉会を宣言。</p>
備考	